

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成20年10月16日(2008.10.16)

【公開番号】特開2007-282980(P2007-282980A)

【公開日】平成19年11月1日(2007.11.1)

【年通号数】公開・登録公報2007-042

【出願番号】特願2006-115590(P2006-115590)

【国際特許分類】

A 4 7 L 9/24 (2006.01)

A 4 7 L 9/04 (2006.01)

A 4 7 L 9/16 (2006.01)

【F I】

A 4 7 L 9/24 Z

A 4 7 L 9/04 A

A 4 7 L 9/16

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月3日(2008.9.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

吸込口体と、

上記吸込口体に一端が連なる延長管と、

上記延長管の他端に一端が連なるサククションホースと、

上記サククションホースの他端に連なる掃除機本体と

を備え、

上記掃除機本体は、

遠心力によって空気から塵埃を分離するサイクロン集塵室と、

上記吸込口体、延長管およびサククションホースを介して塵埃を上記サイクロン集塵室に吸引する電動送風機と

を有し、

上記延長管は、

上記サククションホースへ向かう塵埃を正に帯電させる材料で構成された第 1 部材と、

上記サククションホースへ向かう塵埃を負に帯電させる材料で構成された第 2 部材と

を有することを特徴とする電気掃除機。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の電気掃除機において、

上記延長管内には、

上記第 1 部材が設けられた第 1 吸気通路と、

上記第 2 部材が設けられた第 2 吸気通路と、

上記第 1 吸気通路と上記第 2 吸気通路とを仕切る隔壁とが存在することを特徴とする電気掃除機。

【請求項 3】

吸込口体と、

上記吸込口体に一端が連なる延長管と、

上記延長管の他端に一端が連なるサクシヨンホースと、  
上記サクシヨンホースの他端に連なる掃除機本体と  
を備え、  
上記掃除機本体は、  
遠心力によって空気から塵埃を分離するサイクロン集塵室と、  
上記吸込口体、延長管およびサクシヨンホースを介して塵埃を上記サイクロン集塵室に  
吸引する電動送風機とを有した電気掃除機において、  
上記吸込口体には回転ブラシが回転自在に設けられていて、  
上記回転ブラシは、  
上記延長管へ向かう塵埃を正に帯電させる材料で構成された第3部材と、  
上記延長管へ向かう塵埃を負に帯電させる材料で構成された第4部材と  
を有することを特徴とする電気掃除機。

【請求項4】

請求項1または3に記載の電気掃除機において、  
上記吸込体と上記延長管との間には、塵埃が衝突する攪拌羽根が設けられていることを  
特徴とする電気掃除機。